



Newsletter No.143 2017.7.26

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>



7月！神戸はとても蒸し暑い。ときどき、ポーポキは自らの毛皮を脱ぎたくなるほど暑いのだ！ポーポキは普段、そういうときに木陰を探してお昼寝します。でも今日は、みなさんのためにスイカを運んできました。よく冷えていますよ！どうぞ、お召し上がり！

Popoki's Hot News!

COMING SOON!

8月6日の「ヒロシマ、核、原子力を考える」スカイプ！

今年は神戸大学で開催します。

参加したい人は、8:00にGSICSの前で集合！

スカイプはろにゃんの研究室で行います。

8:25までに来てください。

お待ちしております！



「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちのあにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「二日前に、ほとんどの修士課程の留学生が事務室に修士論文を提出しました。そのあと、とても平和になりました。なぜなら、私たちは論文を仕上げるためにすべてをかけたからです。そこで考えました。平和は、なにかの課題を完成したときに得られるもの？すべての課題を完成したら永久平和を感じられる。つねに新しい課題があるので、それは不可能です。では、本当の平和を感じるための課題はほかの人に関係するものか、それとも自分自身だけのものか。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

灘チャレンジ 展示ブースレポート！パート1

まりにゃん



7月2日の灘チャレンジ。ポーポキは模擬店（次回報告予定）と灘区民ホールの中のブース。ホール内のポーポキブースで2つのプロジェクトが行われていました。

一つは、ポーポキ友情物語。たくさんの子どもたちが参加してくれて、今年も色とりどりの物語が出来上がりました。

様々な場所で、たくさんの人たちによって描かれてきたこれまでのポーポキ友情物語も、壁一面に展示していました！



どんな絵を
描こうかな？



もう一つのプロジェクトは、大槌町からのスペシャルゲスト、川原畑洋子さんの **SHAKE HAND** 活動です！大槌町のシンボルのひとつは鮭です。小さなしゃけ（SHAKE）をデコレーションする活動です。私も参加してきました！



好きな材料で
デコレーション！
カラフルでかわいい
シャケを作ったよ！



まりにゃん作のシャケ！
うさぎのグリコと、
幸せのお布団と、
会場の公園に流れている都
賀川をイメージしたよ！

—おわりに—

ポーポキ友情物語は、平和を繋げていくバトンのような「つながり」を感じました。たくさんの人の笑顔と思いが詰まった、大きなバトンです！これからも、いろんな人にこのバトンをつなげたいと思いました。

SHAKE HAND 活動は、「大槌に帰ろう」という気持ちが込められた、温かい活動だと感じました。子供たちは、テーブルに広げられた材料とにらめっこしながら、真剣に悩んで世界に一つだけのデコ鮭を作っていました。思いが込められた作品は、全部輝いていました！大槌から飛び立ったたくさんの鮭たちが、今年もたくさんかえってきますように！

洋子さん、ありがとうございました！！



先月のポーポキ通信に5月の話と6月の単語を紹介しました。今回は、6月の話と7月の単語を紹介します。そして、ポーポキの友だち、Löic Bret さんが書いてくれた素敵なストーリーも紹介します。

6月の単語は、警報、避難勧告と避難袋です。お話は、次の通りです。

ポーポキは、コアラばあちゃんと避難の練習をすることにしました。

「警報が出て、避難勧告の指示がでたら、避難袋をもってにげるんだよ」とポーポキは説明しました。

コアラばあちゃんは、ニコニコ笑いながらうなずきました。そしてポーポキに質問しました。「それでポーポキ、どこに逃げるの？」

ポーポキは「アッ！確認するのを忘れてしまった！」と叫びました。

「練習でよかったね！」と相変かわらずニコニコしながらコアラばあちゃんが答えました。



Löic Bret さんの新しいお話はフランス語で書かれました。英語もありました。ここでフランス語と日本語を紹介します！お話にろにゃんが絵をつけました。

- « Est-ce vrai que nous devons quitter la maison s'il y a une alerte ? »

- « Cela dépend, Popoki. Durant un séisme, il est conseillé de rester caché. Mais quand tu entends l'alerte évacuation, tu dois quitter la maison. »

- « Puis-je prendre mon ours en peluche ? »

- « Pas vraiment. Tu dois prendre quelques vêtements, nourritures, eaux, premiers soins et des moyens de communication. Ta peluche n'est pas très utile. »

- « Pas question ! Je ne veux pas partir sans mon ours en peluche ! »

この話の日本語訳

「警報が出たら、家から出なければならないって、本当？」

「そうね、ポーポキ。地震だったら、隠れた方が良く。でも、避難警報を聞いたら、家から出ても大丈夫だ。」

「テディベアを連れて行っても良い？」

「本当はいけない。着替えや食べ物、水、救急箱、通信のための道具を持っていかなければならない。あなたのぬいぐるみは役に立ちません。」

「いやだ！テディベアを置いていきたくない！」

「はい、はい。それでは、避難袋とテディベアを持って、安全な場所を探そう。」

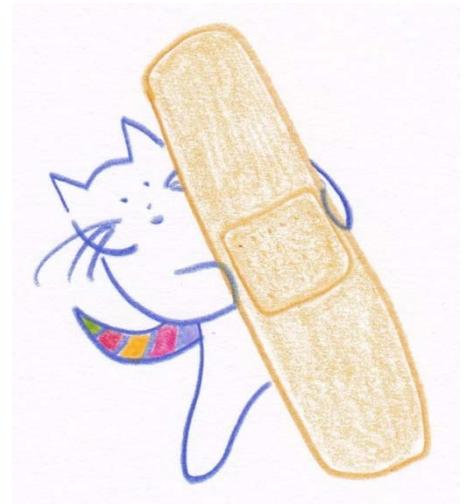


7月第一週目：高台（たかだい）
 ポーポキは、つなみ警報がでたら、世界記録がでるぐらい、一生懸命に高台へ走る。

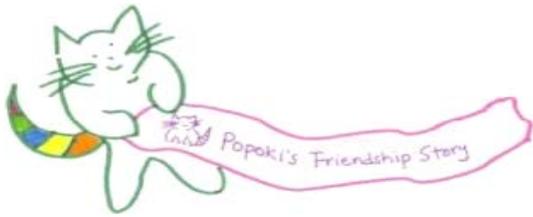


7月第二週目：避難所（ひなんじょ）
 ポーポキのおうちから一番近い避難所は、小学校です。

7月第三週目：救護所（きゅうごしょ）
 ポーポキは、か弱いケガなら救護所に行かなくてすむように、消毒液などを救急箱に入れてあります。



7月第四週目：救援物資（きゅうえんぶつし）
 ポーポキは、新しいタオルを被災地へ救援物資として送（おく）る前に、水をよりよく吸収するために洗濯します。



Popoki's Interview

みおにゃんと小林麻衣子(ネパール滞在)

3月末にネパールに行って来ました。ネパールでは、2015年の4月と5月、2回にわたり、大変大きな地震がありました。今回同行した友人は、地震前にもネパールを訪れています。「世界遺産のダルバール広場の復興作業はあまり進んでいないものの、人々の生活は日常を取り戻しているみたい。ただ、物価が上がり、車が増え、埃が舞い、空気は更に汚れているように感じる。」と彼女は現地で言っていました。

帰国後、カトマンズ在住の友人に、改めて現地の様子をうかがいました。彼女はNGOのメンバーとして今もネパールに滞在しています。

・インフラ整備の復興について

学校、保健施設などの再建は、国際機関の援助が入っている場所ではいち早く行われている。震災直後は仮設、そして現在、本格的な建物の再建を行っている。そもそも村の場合だと、大掛かりなインフラ設備が少ないので、個々の世帯の住居の復興がメインとなっている。

・被災者のメンタルケア

メンタルケアについては、震災直後は大きくテーマとして取り上げられていましたが、現在は物理的な復興の方に焦点が当てられているように感じます。政府の保健政策でも主要テーマには含まれておらず、NGOなどがそれぞれの対象地域で独自に活動している状況です。

・人々の暮らしぶりについて

表面的には、大きく変わったようには見えません。

というのも、震災前も、今も、村の人たちの生活は、ほとんど「自分たちの手の届く範囲にある資源」に頼っているものなので、日々の衣食住については、家族・親戚と協力しながら維持しているように思います。





その一方、ほとんどの世帯が家を建て直すために多額の借金を抱えており、貧困が助長されることが懸念されます。また、貧困世帯は、政府支援についての情報収集が乏しく、復興から取り残されることも懸念されます。このような「取り残された人」に対して、包括的、かつ継続的に支援を行っていくことも、NGOとしての役割かな、と考えています。

今回は私にとって初めてのネパール滞在でした。以前住んでいたインドに比べると静かで穏やかな国でした。ネパールの人はいあまり出しゃばらず友好的な印象です。これからもネパールの人々が幸せで平和に過ごせますように、お手伝いを続けたいと思っています。



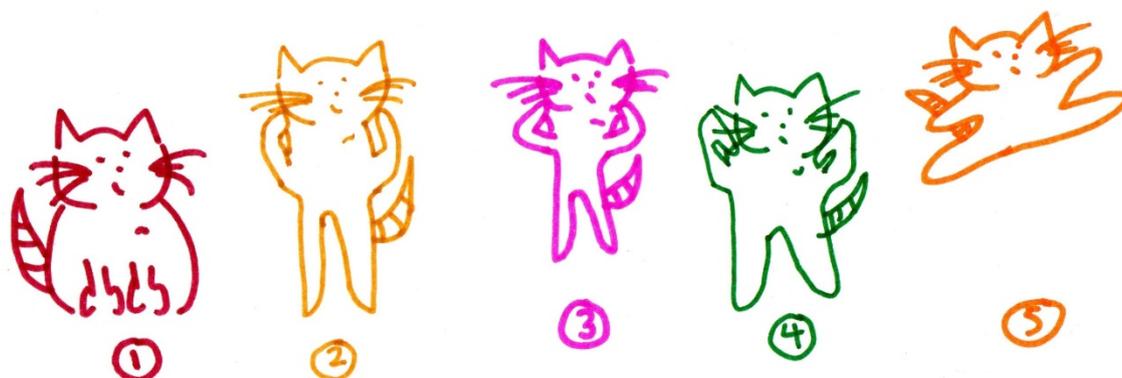
ポーポキは、未だにネパールで苦しい生活を続けている被災者や、世界中の被災者に愛と応援をおくります。日本では最近、歴史的な豪雨、洪水や土砂災害による被害が多い。被災者のみなさまが一日も早く安心できるように祈っています。

また、ポーポキは地球や大気にも愛をおくります。私たちの生存を可能とする地球に対して、みんなが愛を示そうとすれば、すべての人が少しでも安心できるようになるかもしれませんね。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 110

今月のテーマは、肩や背中をのばして、涼しくなろう！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立ちましょう。脇をしめながら、手を首の後ろにおきましょう。そのまま肩を後ろに引いて胸を開きましょう！
 3. 次は、ひじを肩の横まであげてからやさしくうしろへ引きましょう。しっぽもどうぞ！
 4. 今度は、ひじを頭の高さまであげて、ゆっくり回しましょう。5回まわしたら今度は反対周りも！
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：9月22日 19:00～

- 8月6日 ヒロシマディースカイプ@神戸大学 8:00～10:00
- 7.29 ポーポキ@神戸大学アジア健康学フロンティアセンターキックオフシンポジウム！
- 8.7 ポーポキ@第14回多文化共生のための国際理解教育開発教育セミナー。15:00-16:30 >> 分科会①「ねこのポーポキと一緒に平和をつくりましょう」。詳細・申し込み: JICA関西市民参加協力課 多文化共生セミナー担当、E-mail: jicaksic-renkei@jica.go.jp
- 8.18 ポーポキのジェンダー・ワークショップ@2017 大阪・香港・台湾グローバルシチズンシップ・スタディツアー「Celebrate differences ジェンダーの視点から世界をとらえ直そう」。9:00～15:30. 六甲山YMCA.
- 8.23 ポーポキ@神戸大学男女共同参画推進室の小学生サマースクール！ろにゃんとさとにゃんコンビでろにゃんの平和、さとにゃんの健康！対象は神戸大学教職員、学生のこどもさん。良かったら申し込んでくださいね。

ポーポキの友だちから

7.28 都賀川水難事故犠牲者を忍ぶ会 14:00～ 都賀川公園（グルメシティ灘の東側）

7.29～30 森風社と仲間のオープンマーケット クラフト、ガレージセール、カフェ 神戸YWCA分室（神戸市中央区坂口通5-2-16、王子公園・春日野道駅・10分。29日：11時～17時、30日：10時～16時）

Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー : <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」 「こくしのまど 52」 『神戸青年・Kobe YMCA News』 No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』 『神戸新聞』 (貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」 『神戸新聞』 (2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」 『神戸新聞』 (2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」 「ひと抄」 『読売新聞』 (2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」 NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」 阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」 『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なにに色?』の背後にあるもの」 (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまど⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」 『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャンレジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なにに色?』 「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」 朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」 れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カテイング・エッジ」 第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」) 「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニソン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」 (斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになつてくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」 エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞 「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10





私にとってのポーポキ

シウィにゃん

ポーポキが私に何を意味するのかを考えてみると、それを言葉で表現するのは難しい。それは、ポーポキが私の知らないうちに私の人生に静かに忍び込んできているからかもしれない。ポーポキの友情は私に多くの新しい友だちを迎える機会を与え、より良い友だちになるのを助けます。ポーポキは彼の友人の話と共有してくれるので、他の人はポーポキの友人の感動的な物語や勇気ある精神の暖かさを知る機会があります。(例えば、最近、ポーポキは、大槌町から灘チャレンジのために、おおつちおばちゃんクラブのヨウコさんを招待し、シェイクハンド活動をしていただきました。



ポーポキは、自分が持っているものに感謝するように私に思い出させてくれる。そして、ポーポキは私に多くの祝福があることを示してくれます。

ポーポキはまた、他の人々を簡単な方法でサポートできることを私に認識させてくれます。ありがとうございます、ポーポキ。

灘チャレンジでの SHAKE HAND 活動



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!